



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式／ 特殊型(絶対収益追求型)
信託期間	2029年8月27日まで(2019年10月15日設定)
運用方針	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
ファンドの運用方法	外国投資信託証券の組入れは原則として高位に保つことを基本とします。各投資信託証券への投資比率は、原則として市況環境および投資対象ファンドの収益性等を勘案して決定します。なお、資金動向等によっては、各投資信託証券への投資比率を引き下げることもあります。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 (1) 分配対象額の範囲 経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収入および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 (2) 分配対象収益についての分配方針 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 (3) 留保益の運用方針 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

スパークス・ベスト・ピック・ ファンドⅡ(日本・アジア) マーケットヘッジあり

特化型

第1期 運用報告書(全体版) (決算日 2020年2月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア)マーケットヘッジあり』は、このたび、第1期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス
＜ お問い合わせ先 ＞
リテールBDマーケティング部
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia Index (円ベース)		投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
(設定日) 2019年10月15日	円 10,000	円 -	% -	216.71	% -	% -	百万円 1
1期(2020年2月27日)	10,653	0	6.5	224.62	3.7	95.2	371

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

(注3) 設定日のMSCI AC Asia Index(円ベース)は、設定日前営業日(2019年10月11日)の値です。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI AC Asia Index (円ベース)		投資証券 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	
(設定日) 2019年10月15日	円 10,000	% -	216.71	% -	% -
10月末	10,032	0.3	224.64	3.7	69.9
11月末	10,146	1.5	228.43	5.4	93.2
12月末	10,230	2.3	238.47	10.0	93.2
2020年1月末	10,230	2.3	229.34	5.8	82.3
(期末) 2020年2月27日	10,653	6.5	224.62	3.7	95.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Index(円ベース)」です。

・ファンドの参考指数である「MSCI AC Asia Index」について

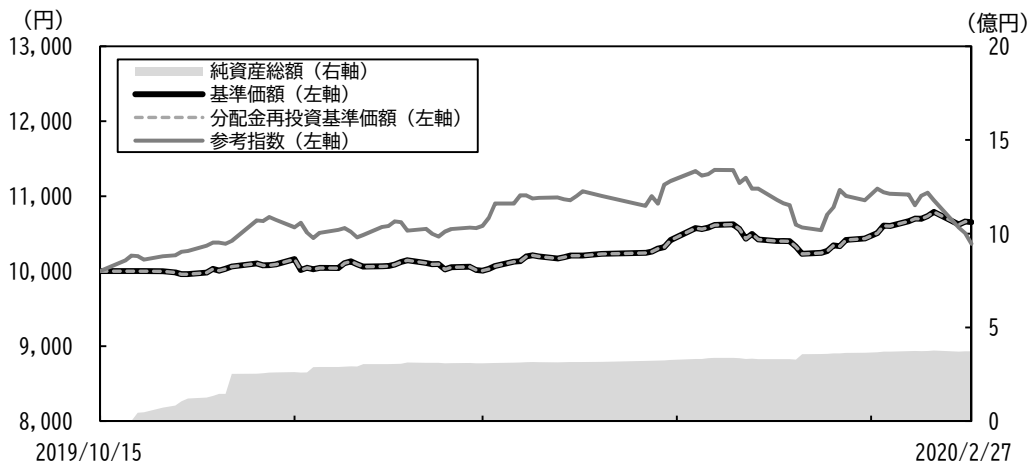
MSCI AC Asia Index は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、アジア地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。

また、MSCI AC Asia Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2019年10月15日～2020年2月27日)

基準価額は設定時に比べ6.5%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。



設定日 : 10,000円

第1期末 : 10,653円(既払分配金0円)

騰落率 : 6.5%(分配金再投資ベース)

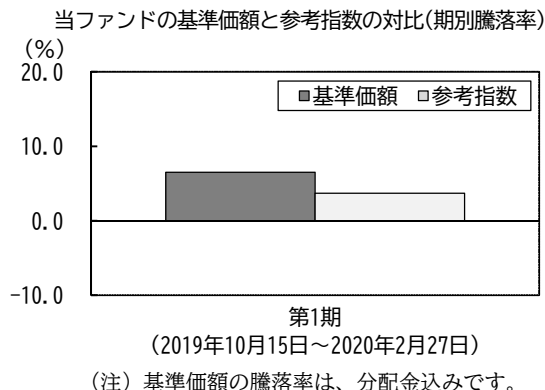
- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Index (円ベース)」です。
- ※ 参考指数は設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

香港市場が上昇したこと、また、株価指数先物が下落したことが基準価額の上昇要因となりました。一方、韓国ウォンが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

3) ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Index (円ベース)」です。



■ 投資環境

<日本を含むアジア企業の株式>

1月半ばまでは、米中両国は貿易協議の「第一段階」で合意に達し、米国が中国製品に課していた関税の一部が15%から7.5%に引き下げられたことなどにより、アジア地域の市場は上昇しました。しかし1月半ば以降は、中国・湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症が中国全土のみならず国外にまで拡大したために、上昇基調は一転しました。

<国内債券・短期金融市場>

2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したため、国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなりました。

■ ポートフォリオ

<スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア)マーケットヘッジあり>

「SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)」と「スパークス・マネー・マザーファンド」の投資信託証券への投資を通じて、日本を含むアジア企業の株式または日本を含むアジア地域の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とするとともに、日本を含む投資対象国の株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、株価指数先物取引等を活用することを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行いました。

<SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)>

日本を含むアジア企業の株式または日本を含むアジア地域の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とし、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、魅力的なビジネスと卓越した経営陣を併せ持つ企業で、企業価値に対して割安と考えられる銘柄の中から厳選して集中的に投資を行うとともに、日本を含む投資対象国の株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、株価指数先物取引等を活用しました。

(主なプラス要因)

Alibaba Group Holding(中国/小売)とTencent Holdings(中国/メディア・娯楽)はインターネット企業であるため「感染の拡大を恐れる中国人消費者が、むしろネット上で消費を増やすといった行動」が考えられたため、新型コロナウイルス感染症が広がったのちも大きくは下落せず、期を通じては上昇しました。また、株価指数先物が下落したことがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

日本電産と花王は「中国における売上成長が本源的価値拡大のドライバとなっている企業(中国関連銘柄)」であり、新型コロナウイルス感染症の影響により下落しました。これが長引くとビジネスの成長鈍化の可能性があります。しかし、過去においても、人類はパンデミック(感染症の流行)に対処し、危機を克服してきました。

<スパークス・マネー・マザーファンド>

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当期の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

<スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア)マーケットヘッジあり>

引き続き、「SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)」と「スパークス・マネー・マザーファンド」の投資信託証券への投資を通じて、日本を含むアジア企業の株式または日本を含むアジア地域の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みません。)を主要投資対象とするとともに、日本を含む投資対象国の株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、株価指数先物取引等を活用します。

<SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)>

引き続き、日本を含むアジア企業の株式または日本を含むアジア地域の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とし、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、魅力的なビジネスと卓越した経営陣を併せ持つ企業で、企業価値に対して割安と考えられる銘柄の中から厳選して集中的に投資を行うとともに、日本を含む投資対象国の株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、株価指数先物取引等を活用します。

<スパークス・マネー・マザーファンド>

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案して見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位: 円 1万口当たり・税込み)

項 目	第1期 (2019年10月15日～ 2020年 2月27日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	652

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2019年10月15日～2020年2月27日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社)	36円 (6)	0.354% (0.059)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.285)	
(受 託 会 社)	(1)	(0.010)	
(b) そ の 他 費 用	4	0.040	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ファンドの監査人等に対する報酬および費用 ・法定書類等の作成、印刷費用 ・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
(監 査 費 用)	(3)	(0.030)	
(印 刷 費 用)	(1)	(0.010)	
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	40	0.394	
期中の平均基準価額は10,160円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

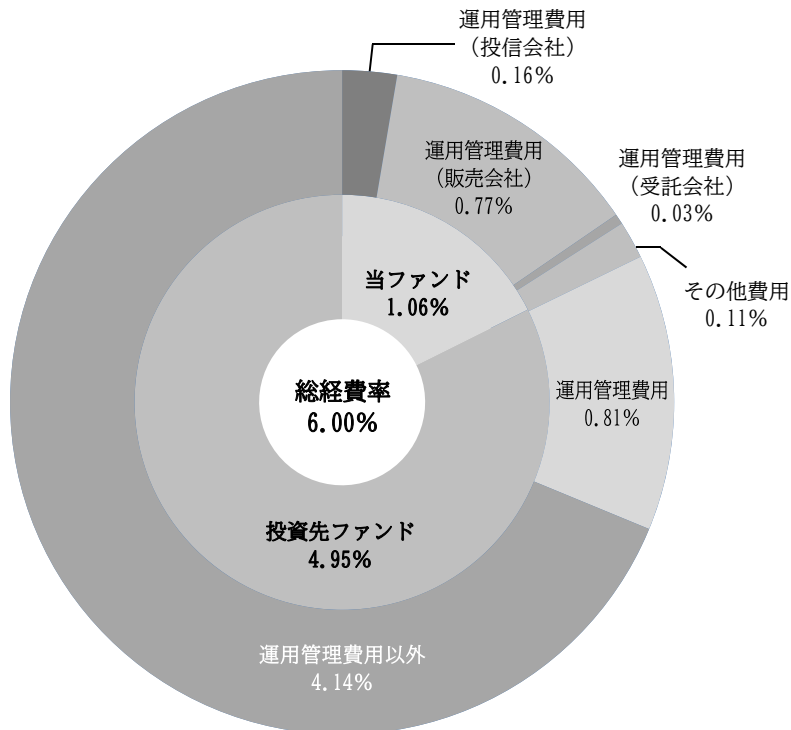
(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。(親投資信託を除く)

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は6.00%です。



総経費率 (①+②+③)	6.00%
①当ファンドの費用の比率	1.06%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.81%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	4.14%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
 (注) 各比率は、年率換算した値です。
 (注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。
 (注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2019年10月15日から2020年2月27日まで)

投資証券

銘柄名	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)	千口 33.164	千円 332,000	千口 -	千円 -

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未满是切り捨て。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2019年10月15日から2020年2月27日まで)

項目	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
スパークス・マネー・マザーファンド	千口 9	千円 10	千口 -	千円 -

(注) 単位未满是切り捨て。

■ 主要な売買銘柄 (2019年10月15日から2020年2月27日まで)

投資証券

買付			売付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)	千口 33.164	千円 332,000	—	千口 -	千円 -

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未满是切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年10月15日から2020年2月27日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種類	当期		
	買付額	売付額	期末保有額
投資証券	百万円 332	百万円 -	百万円 353

(注1) 単位未满是切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)」は弊社の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2019年10月15日から2020年2月27日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2019年10月15日から2020年2月27日まで)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 1	百万円 -	当初設定時における取得等

■ 組入資産の明細 (2020年2月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)	千口 33	千円 353,926	% 95.2
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	33 353,926 1銘柄	- <95.2%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
スパークス・マネー・マザーファンド	千口 9	千円 9

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当期末の受益権総口数は、9,994千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2020年2月27日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2020年2月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 353,926	% 94.9
スパークス・マネー・マザーファンド	9	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	19,153	5.1
投 資 信 託 財 産 総 額	373,088	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年2月27日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	373,088,072 円
コール・ローン等	19,151,912
スパークス・マネー・マザーファンド(評価額)	9,952
投資証券(評価額)	353,926,208
(B)負 債	1,156,359
未払信託報酬	1,038,429
未払利息	52
その他未払費用	117,878
(C)純資産総額(A - B)	371,931,713
元 本	349,147,423
次期繰越損益金	22,784,290
(D)受益権総口数	349,147,423 口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,653 円

■ 損益の状況

当期 (自2019年10月15日 至2020年2月27日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△ 9,238 円
支 払 利 息	△ 9,238
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	21,827,898
売 買 益	21,926,208
売 買 損	△ 98,310
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,156,359
(D)当 期 損 益 金(A + B + C)	20,662,301
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	2,121,989
(配 当 等 相 当 額)	(△ 5,602)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,127,591)
(F)合 計(D + E)	22,784,290
(G)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F + G)	22,784,290
追 加 信 託 差 損 益 金	2,121,989
(配 当 等 相 当 額)	(△ 5,602)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,127,591)
分 配 準 備 積 立 金	20,671,539
繰 越 損 益 金	△ 9,238

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 期首元本額	1,000,000 円
期中追加設定元本額	349,821,392 円
期中一部解約元本額	1,673,969 円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項 目		第 1 期
費用控除後の配当等収益額	A	- 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	20,671,539 円
収益調整金額	C	2,118,353 円
分配準備積立金額	D	- 円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	22,789,892 円
当ファンドの期末残存口数	F	349,147,423 口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	652.72 円
1万口当たり分配金額	H	- 円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	- 円

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	－円
----------------	----

■ お知らせ

該当事項はありません。

- ※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。
- ※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

ご参考として以下に、スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア)マーケットヘッジありが組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

<参考情報>

SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド (ヘッジありクラス/円建) SPARX JAPAN ASIA BEST PICK FUND (Hedged Class JPY Shares)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態／表示通貨	ケイマン籍外国投資法人／円建
主な投資対象	日本を含むアジア企業の株式または日本を含むアジア地域の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とするとともに、当クラスにおいては日本を含む投資対象国の株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、株価指数先物取引等を活用します。
投資方針	ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、魅力的なビジネスと卓越した経営陣を併せ持つ企業で、企業価値に対して割安と考えられる銘柄の中から厳選して集中的に投資を行うとともに、当クラスにおいては日本を含む投資対象国の株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、株価指数先物取引等を活用します。
主な投資制限	一発行体への投資割合は、原則として純資産総額の35%以内とします。
為替ヘッジ	外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
運用報酬等	純資産総額に対して年率0.80%程度。 その他、受託会社報酬、保管会社報酬などの費用がかかります。
その他の費用	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、組入資産の保管費用・管理費用等。 ※その他費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
管理運用会社	SPARX Asia Capital Management Limited
投資助言会社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
管理事務会社	HSBC Trustee (Cayman) Limited
保管会社及び管理事務会社の代理人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

(注) 記載されている内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2019年12月31日現在)

外国株式等

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(中国市場)	百株	千人民元	千円		
Wuliangye Yibin Co Ltd A Shrs	49	652	10,171	アルコール飲料	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	49 1銘柄	652 -	10,171 <2.6%>	
(香港市場)	百株	千香港ドル	千円		
AIA Group Ltd	92	753	10,499	生命・健康保険	
Ever Sunshine Lifestyle Services Group Ltd	1,300	686	9,576	不動産開発	
Meituan Dianping	84	856	11,941	インターネット・ソフトウェアサービス	
Shenzhen International Group Holdings Ltd	86	980	13,665	衣料・履物	
Tencent Holdings Ltd	17	639	8,908	特殊通信	
Times China Holdings Ltd	350	544	7,588	不動産開発	
WuXi AppTec Co Ltd	117	1,131	15,775	医薬品総合	
Wuxi Biologics Cayman Inc	75	740	10,322	バイオテクノロジー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,121 8銘柄	6,328 -	88,273 <22.3%>	
(インドネシア市場)	百株	千インドネシアルピア	千円		
Nippon Indosari Corpindo Tbk	24,361	3,166,930	24,782	製菓業	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	24,361 1銘柄	3,166,930 -	24,782 <6.3%>	
(日本市場)	百株	千円	千円		
Anicom Holdings Inc	13	4,791	4,791	損害保険	
Daikin Industries Ltd	3	4,635	4,635	産業機械	
Kao Corp	10	9,025	9,025	家庭用品・パーソナルケア	
Misumi Group Inc	39	10,616	10,616	産業機械	
Nidec Corp	8	12,004	12,004	電気製品	
Recruit Holdings Co Ltd	33	13,527	13,527	インターネット・ソフトウェアサービス	
Relo Group Inc	35	10,675	10,675	不動産開発	
Rohto Pharmaceutical Co Ltd	31	10,292	10,292	家庭用品・パーソナルケア	
Shimano Inc	6	10,662	10,662	娯楽用品	
Softbank Group Corp	27	12,841	12,841	特殊通信	
Sony Corp	20	14,802	14,802	電化製品	
Takeda Pharmaceutical Co Ltd	30	12,996	12,996	医薬品総合	
Terumo Corp	30	11,655	11,655	特殊医療	
Unicharm Corp	29	10,730	10,730	家庭用品・パーソナルケア	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	314 14銘柄	149,250 -	149,250 <37.7%>	
(韓国市場)	百株	千韓国ウォン	千円		
LG Household & Health Care Ltd	0.3	32,786	3,084	家庭用品・パーソナルケア	
SK Hynix Inc	9	88,736	8,348	半導体	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	10 2銘柄	121,522 -	11,432 <2.9%>	

スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア)マーケットヘッジあり

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(マレーシア市場) Genting Malaysia	百株 359	千マレーシアリンギット 118	千円 3,135	カジノ・ギャンブル	
小計	株数・金額 359 銘柄数<比率> 1銘柄	118	3,135	< 0.8% >	
(フィリピン市場) Philippine Seven Corp	百株 257	千フィリピンペソ 3,644	千円 7,815	食品小売り	
小計	株数・金額 257 銘柄数<比率> 1銘柄	3,644	7,815	< 2.0% >	
(シンガポール市場) Singapore Technologies Engineering Ltd Thai Beverage Pcl	百株 92 1,834	千シンガポールドル 36 163	千円 2,926 13,175	航空宇宙・防衛 アルコール飲料	
小計	株数・金額 1,926 銘柄数<比率> 2銘柄	199	16,101	< 4.1% >	
(米国 ADR 市場) Alibaba Group Holding Ltd ADR (1 ADR Reprs 8 Ord Shrs) JD.com Inc ADR (1 ADR Reprs 2 Ord Shrs) Momo Inc ADR (1 ADR Reprs 2 Ord Shrs) New Oriental Education & Technology Group Inc Spon ADR (1 ADR Reprs 1 Ord Shrs) Sea Ltd ADR (1 ADR Reprs 1 Ord Shr)	百株 7 9 24 7 18	千米ドル 148 32 80 85 74	千円 16,106 3,510 8,658 9,273 8,074	インターネット販売 インターネット販売 情報技術サービス その他消費者サービス インターネット・ソフトウェアサービス	
小計	株数・金額 65 銘柄数<比率> 5銘柄	420	45,621	< 11.5% >	
合計	株数・金額 29,462 銘柄数<比率> 35銘柄	—	356,580	< 90.1% >	

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

先物取引等

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(日本市場) Topix Index Fut Mar 20 03/12/2020	枚数 -14	千円 -700	千円 -700		
小計	株数・金額 -14 銘柄数<比率> 1銘柄	-700	-700	< -0.2% >	
合計	株数・金額 -14 銘柄数<比率> 1銘柄	—	-700	< -0.2% >	

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2019年 9月10日
至 2019年12月31日

(単位：千円)

収益			
受取配当金			729
受取利息			8
解約差益			0
その他収益			27
	収益計		<u>766</u>
費用			
支払利息			0
受託会社報酬			6,048
監査報酬			960
源泉税			111
管理運営会社報酬			1,137
管理事務報酬			844
設立費償却			605
その他費用			2,183
	費用計		<u>11,891</u>
純投資損益			<u>△11,125</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益			
投資有価証券売買損益			409
為替差損益			△ 559
先物売買損益			△ 8,905
			<u>△ 9,055</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減			
有価証券未実現純評価損益増減			45,013
為替未実現純評価損益増減			3,272
先物未実現純評価損益増減			△ 700
			<u>47,585</u>
営業活動による純資産の純増減額			<u>27,405</u>

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。

スパークス・マネー・マザーファンド

第 12 期

決算日 2019年11月11日

(計算期間：2018年11月13日～2019年11月11日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式(新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額 5%以内とします。
分配方針	決算日毎年 11 月 10 日(休業日の場合は翌営業日) 収益分配は行いません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

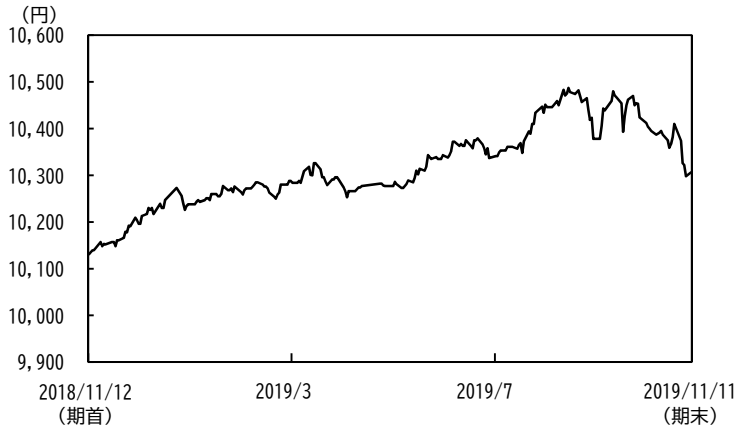
決算期	基準価額		債券 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		
8期(2015年11月10日)	円 10,125	% 0.0	% 73.8	百万円 13
9期(2016年11月10日)	10,143	0.2	99.4	10
10期(2017年11月10日)	10,141	△0.0	99.5	10
11期(2018年11月12日)	10,131	△0.1	99.4	10
12期(2019年11月11日)	10,306	1.7	99.1	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2018年11月12日	円 10,131	% -	% 99.4
11月末	10,161	0.3	99.4
12月末	10,247	1.1	99.4
2019年 1月末	10,260	1.3	99.4
2月末	10,272	1.4	99.4
3月末	10,326	1.9	99.4
4月末	10,277	1.4	99.4
5月末	10,314	1.8	99.4
6月末	10,375	2.4	99.4
7月末	10,369	2.3	99.4
8月末	10,478	3.4	99.4
9月末	10,454	3.2	99.4
10月末	10,382	2.5	99.2
(期末) 2019年11月11日	10,306	1.7	99.1

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額の推移



■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ 期中の売買及び取引の状況（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ 利害関係人との取引状況等（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2019年11月11日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,994千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組 入 比 率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	10,000	10,211	99.1	—	99.1	—	—
合 計	10,000	10,211	99.1	—	99.1	—	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切り捨て。—印は組み入れなし。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第347回長期国債10年	0.1	10,000	10,211	2027/6/20
合 計		—	10,000	10,211	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2019年11月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 10,211	% 99.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	89	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	10,300	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	10,300,259 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	84,571
公 社 債 (評 価 額)	10,211,800
未 収 利 息	3,888
(B)負 債	0
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	10,300,259
元 本	9,994,224
次 期 繰 越 損 益 金	306,035
(D)受 益 権 総 口 数	9,994,224 口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,306 円

■ 損益の状況

当期 (自2018年11月13日 至2019年11月11日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	9,971 円
受 取 利 息	9,973
支 払 利 息	△ 2
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	164,700
売 買 益	164,700
(C)当 期 損 益 金 (A+B)	174,671
(D)前 期 繰 越 損 益 金	130,596
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	768
(F)合 計 (C+D+E)	306,035
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	306,035

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	9,974,992 円
期中追加設定元本額	19,232 円
期中一部解約元本額	- 円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・アジア中東株式ファンド (隔月分配型)	9,964,333 円
スパークス・アジア中東株式ファンド (資産成長型)	10,659 円
スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジあり	9,616 円
スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジなし	9,616 円

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

■ お知らせ

2019年2月9日付で下記の通り投資信託約款の変更をいたしました。

- ・当ファンドの電子公告のアドレスにつき、弊社ホームページの URL 変更 (<https://www.sparx.co.jp/>) に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。